

各種配管資材の締付トルク…下記参考に付き仕様・条件等が相違の場合は別途御照会下さい。

ダクタイル鋳鉄管 (T頭ボルト)

呼び径	ボルト締付トルク N・m
M16 (φ75)	60
M20 (φ100~600)	100
M24 (φ700~800)	140
M300 (φ900~2600)	200

日本ダクタイル鉄管協会発行～接合要領書より

離脱防止押輪 (押しボルト) の締付トルク:CMA,CMB,CMH

呼び径	ボルト締付トルク N・m
75	100
100~600	100
700~800	120
900~1800	140

コスモ工機 (株) 発行～便覧より

大平面座形フランジのボルト標準締め付けトルク

呼び径 (ボルトの呼び)	ボルト締付トルク N・m
75~200 (M16)	60
250・300 (M20)	90
350・400 (M22)	120
450~600 (M24)	260

日本ダクタイル鉄管協会発行～フランジ形ダクタイル管接合要領書より

配水用ポリエチレン管用フランジ締付トルク (ポリ製フランジ)

呼び径	ボルト締付トルク N・m
50	32
75	44
100	54
150	60
200	64

備考:PE押し口付フランジ短管を除く。
クボタシーアイ (株) 発行～水道配水用ポリエチレンパイプカタログより

管内の概算水量表

単位 m³

呼び径 (mm)	管 路 長 (m)						
	100	300	500	800	1200	2000	3000
75	0.44	1.33	2.21	3.53	5.30	8.84	13.25
100	0.79	2.36	3.93	6.28	9.42	15.71	23.52
150	1.77	5.30	8.84	14.14	21.21	35.34	53.01
200	3.14	9.42	15.71	25.13	37.70	62.83	94.25
250	4.91	14.73	24.54	39.27	58.90	98.17	147.26
300	7.07	21.21	35.34	56.55	84.82	141.37	212.06
350	9.62	28.86	48.11	76.97	115.45	192.42	288.63
400	12.57	37.70	62.83	100.53	150.80	251.33	376.99
450	15.90	47.71	79.52	127.23	190.85	318.09	477.13
500	19.63	58.90	98.17	157.08	235.62	392.70	589.05
600	28.27	84.82	141.37	226.19	339.29	565.49	848.23
700	38.48	115.45	192.42	307.88	461.81	769.69	1154.54
800	50.27	150.80	251.33	402.12	603.19	1005.31	1507.96
900	63.62	190.85	318.09	508.94	763.41	1272.35	1908.52
1000	78.54	235.62	392.70	628.32	942.48	1570.80	2356.19

仕切弁のキャップ回転数

ダクタイル鋳鉄仕切弁 (JWWA B 122)、ソフトシール仕切弁 (JWWA B 120)、水道用仕切弁 (JIS B 2062) のキャップ (弁棒) 回転数を下表に示す。

呼び径	機 種 圧力 (Mpa)	ダクタイル鋳鉄仕切弁 (規格値)				ソフトシール仕切弁 (規格値)			水道用仕切弁 (参考値)
		2 種	3 種	4 種	5 種	2 種	3 種	4 種	
		0.75	1.0	1.6	2.0	0.75	1.0	1.6	
50		14		14		13	13	13	
75		14		14		13	13	13	
100		18		18		17	17	15	
125		22		22		21	21	18	
150		20		20		19	19	19	
200		26		26		25	25	25	
250		26		26		25	25	26	
300		31		31		30	30	31	
350		36		—		35	—	36	
400		34		—		33	—	37	
450		39		—		38	—	41	
500		43		—		42	—	41	

備考 回転数の許容差は、規格化された水道用バルブでも、メーカーによって回転数に差が有る。その許容範囲を示す。

・ダクタイル鋳鉄仕切弁 0~+3 ・ソフトシール仕切弁 呼び径50~350 0~+3 呼び径400~500 0~+5

・水道用仕切弁 -0.5~+3

水道用バタフライ弁 (JWWA B 138) メーカーによって操作機の減速比が異なる。そのため、開度状態は、操作機に付いている開度計で確認する